すべての人に

サイクル店「さくらや仙

収袋を購入し、1袋 門を負担して専用の同 だ人が1個につき400 だ人が1個につき400

1 の () 袋 回常()

いないのに、は「日本では、

はもう患者が かんじゃ かんじゃ かんじゃ かんじゃ

「日本では

っている国があ

チンを宏

店に持ち込ま

仙台市太白区の制服

きょうのテーマ

て、発展途上国の子はってんとじょうこく

みんな思 い出

みんな動こう

みんな知り

んなト

地球のためにできること

ランドセルや古着が命救う

SDGs

小学校を卒業して使わ

もう着ないけれどま

いるよ。国連の持続可能を支援している人たちがどもたちのワクチン接種 康と福祉を」な開発目標(活動だね べての人に健 ワクチン接っ せっ S D G s につながる

ランドセルを持ち込ん

ワクチン」の活動に賛同ンを寄付する「古着deと同時に、ポリオワクチ 出し、現地で販売する古着を発展途上国に輸ています。ランドセルや 務局・大阪市)に発送しは8ワクチン」(運営事れたランドセルを「古着 送りました。 昨年3月に第1便を

ります。片浦一枝店長以下の子どもが多くかか 起こる感染症で、5%がないます。



けられる仕組みです。

ます。今年3、4日ドセルは320個を

-セルは320個を超えこれまでに送ったラン

のポリオワクチンがミャ

話します。

1袋購入ごとに、5人分

ンマーやラオスなどに届

に9個入れて送ります。

で、5歳がにまひが

「大人が社会貢献する姿を見せれば、子どもにも 言う母親を説得して持っても、50個以上集まりまでも、50個以上集まりまます。

ットで調べて てきた子や、

インターネ

れた人も

de すりた。

片浦店長は言います。賛同の輪を広げたい」。れしい。活動を続けて、 う人たちがいることがう「誰かを助けたいと思 誰だれ

て、考えてみよう。
の前に少し立ち止まっ
の前に少し立ち止まっ
の前に少し立ち止まっ セルが、遠い国の 毎日背負っていた お気に入りだっ の子ども

つながっていく」と話す片浦店長

今週の注目ニュース

_{かん ご} **看護の日** ◇12日 (木)

近代看護教育の母フローレンス・ナイチンゲールの 誕生日にちなんで、1990年に制定されたよ。病気や けがに苦しむ人だけでなく、全ての人に優しく、互い に助け合える心を持ちたいね。

2面 イマ★どきリポート

3面 3分チャレンジ

4・5面 わが校わがまち スクール通信

になって始めました」とな命を救えるのが決め手

6面 聞いて学べる こども英語

7面 投稿特集

8面 子育て・教育相談コーナー

きょうの紙面